

## 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前事業年度	当第3四半期会計期間	比較増減
		(2016年3月31日)	(2016年12月31日)	
		金 額	金 額	
資産の部				
現金及び預貯金		2,329	22,975	20,646
有価証券		40,139	16,928	△23,211
貸付金		1	0	△1
有形固定資産		183	190	7
無形固定資産		2,966	3,026	60
その他資産		3,652	5,599	1,947
貸倒引当金		△1	△0	1
資産の部合計		49,272	48,721	△551
負債の部				
保険契約準備金		34,919	39,567	4,647
支払備金		10,132	11,816	1,683
責任準備金		24,786	27,750	2,964
その他負債		2,869	1,781	△1,087
役員退職慰労引当金		49	20	△28
賞与引当金		247	136	△110
特別法上の準備金		36	39	2
価格変動準備金		36	39	2
繰延税金負債		155	141	△14
負債の部合計		38,277	41,687	3,409
純資産の部				
株主資本				
資本金		26,610	26,610	—
資本剰余金		24,847	24,847	—
利益剰余金		△40,954	△44,879	△3,924
株主資本合計		10,503	6,578	△3,924
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金		491	455	△36
評価・換算差額等合計		491	455	△36
純資産の部合計		10,995	7,034	△3,960
負債及び純資産の部合計		49,272	48,721	△551

## 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	比較増減	増減率
		(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)		
		金 額	金 額		
経常収益		21,608	26,263	4,655	21.5%
保険引受収益		21,418	26,213	4,795	22.4
(うち正味収入保険料)	(	21,309	26,146	4,837	22.7)
(うち収入積立保険料)	(	78	36	△41	△52.8)
(うち積立保険料等運用益)	(	29	30	0	2.2)
資産運用収益		93	46	△47	△50.4
(うち利息及び配当金収入)	(	86	73	△13	△15.5)
(うち有価証券売却益)	(	20	3	△16	△81.1)
(うち積立保険料等運用益振替)	(	△29	△30	△0	—)
その他経常収益		95	3	△92	△96.4
経常費用		25,137	30,175	5,037	20.0
保険引受費用		17,829	21,890	4,061	22.8
(うち正味支払保険金)	(	11,213	14,222	3,009	26.8)
(うち損害調査費)	(	1,717	2,116	399	23.3)
(うち諸手数料及び集金費)	(	637	654	17	2.8)
(うち満期返戻金)	(	371	243	△128	△34.6)
(うち支払備金繰入額)	(	1,206	1,683	477	39.6)
(うち責任準備金繰入額)	(	2,679	2,964	284	10.6)
資産運用費用		2	3	0	38.5
営業費及び一般管理費		7,277	8,272	994	13.7
その他経常費用		28	8	△19	△68.2
(うち支払利息)	(	3	2	△0	△14.4)
経常損失(△)		△3,529	△3,911	△382	—
特別損失		6	3	△3	△54.1
減損損失		0	0	△0	△65.3
特別法上の準備金繰入額		5	2	△3	△52.4
価格変動準備金繰入額		5	2	△3	△52.4
税引前四半期純損失(△)		△3,536	△3,914	△378	—
法人税等		7	9	1	25.3
四半期純損失(△)		△3,544	△3,924	△380	—

保 險 引 受 収 支	正味収入保険料	(+)	21,309	26,146	4,837	22.7
	正味支払保険金	(-)	11,213	14,222	3,009	26.8
	損害調査費	(-)	1,717	2,116	399	23.3
	正味事業費	(-)	7,896	8,912	1,015	12.9
	(諸手数料及び集金費)	(	637	654	17	2.8)
	(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(	7,259	8,257	998	13.8)
	収支残高		482	894	412	85.6
	保険引受利益(△は損失)		△3,648	△3,913	△264	—
諸 比 率	正味損害率	(%)	60.7	62.5	1.8	
	正味事業費率	(%)	37.1	34.1	△3.0	
	コンバインド・レシオ	(%)	97.8	96.6	△1.2	

## 種目別保険料・保険金関係

元受正味保険料（除く収入積立保険料）

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 2015年4月1日〕 〔至 2015年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 2016年4月1日〕 〔至 2016年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	1,243	5.4	△16.2	1,188	4.3	△4.5
海上	—	—	—	—	—	—
傷害	2,900	12.7	△4.7	2,740	10.0	△5.5
自動車	17,831	78.0	34.7	22,679	82.3	27.2
自動車損害賠償責任	△0	△0.0	—	△0	△0.0	—
その他	876	3.8	9.7	933	3.4	6.6
合計 (収入積立保険料)	22,851 ( 78 )	100.0 —	23.1 ( △47.6 )	27,542 ( 36 )	100.0 —	20.5 ( △52.8 )

## 正味収入保険料

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 2015年4月1日〕 〔至 2015年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 2016年4月1日〕 〔至 2016年12月31日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火災	514	2.4	△39.8	467	1.8	△9.2
海上	△0	△0.0	△105.8	1	0.0	—
傷害	1,940	9.1	0.4	1,905	7.3	△1.8
自動車	17,663	82.9	34.8	22,515	86.1	27.5
自動車損害賠償責任	315	1.5	1.9	324	1.2	2.9
その他	876	4.1	9.3	932	3.6	6.4
合計	21,309	100.0	25.3	26,146	100.0	22.7

## 正味支払保険金

区 分	前第3四半期累計期間 〔自 2015年4月1日〕 〔至 2015年12月31日〕			当第3四半期累計期間 〔自 2016年4月1日〕 〔至 2016年12月31日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味損害率 (%)
火災	365	△40.4	79.0	314	△14.2	75.2
海上	3	△70.9	—	0	△81.0	48.0
傷害	1,025	△12.6	64.0	1,019	△0.5	65.1
自動車	9,373	33.8	60.9	12,444	32.8	63.1
自動車損害賠償責任	317	△4.0	101.6	312	△1.5	103.7
その他	127	37.1	24.0	130	2.3	22.2
合計	11,213	21.5	60.7	14,222	26.8	62.5

## 単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

区分	前事業年度 (2016年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2016年12月31日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	14,702	10,958
資本金又は基金等	10,503	6,578
価格変動準備金	36	39
危険準備金	11	11
異常危険準備金	3,563	3,789
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額（税効果控除前）	582	537
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	4	2
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	4,051	4,578
一般保険リスク ( $R_1$ )	2,801	3,355
第三分野保険の保険リスク ( $R_2$ )	—	—
予定利率リスク ( $R_3$ )	25	23
資産運用リスク ( $R_4$ )	1,081	638
経営管理リスク ( $R_5$ )	144	150
巨大災害リスク ( $R_6$ )	895	1,006
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	725.8%	478.7%

(注) 上記の金額および数値は、保険業法施行規則第86条および第87条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。ただし、当第3四半期会計期間の金額および数値は、巨大災害リスクの計算の基礎となる値の一部を当中間会計期間と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。